

創意工夫

高付加価値部品のトップブランドを目指して



代表取締役
清水 克洋

石金精機流

成長支援制度の開始

金尾本部長をはじめ、役職者が中心となって作り上げた成長支援制度を本年4月から仮運用をスタートさせました。この制度は社員一人ひとりの成長として、【①今できていないことの習得、②今できることの高度化】を会社としてサポートすることが目的となっています。

6月末には1回目の成長面談が行われました。面談ではこの3か月間の中で業務において良かったことの洗い出しと、更なる成長に向けた課題の抽出をテーマに、各課員一人ひとりが上司との話し合いの場を持つことによって制度の目的達成に向けてチャレンジして頂くことになりました。面談を行う上司と部下、それぞれが初めての取り組みであったため、上手くいった場合もあれば、思うように面談が進まなかった場合もあったと思います。

私はこの成長支援制度は発展途上であり、これから運用を重ねる中でどんどんブラッシュアップし、石金流の制度として確立していけば良いと思っています。人の成長ももちろんですが、会社としての成長にとっての第一歩であり、その一歩を踏み出さない限り、二歩目、三歩目を踏み出すことはできません。

四半期に一度の面談であるため次回は9月末に開催予定です。引き続き、金尾本部長を中心に、1回目の面談開催実績を踏ま

え、面談の進め方や内容について振り返りがなされています。少しずつでも前に進むことを期待しています。

上司の皆様への期待

先述の通り、この制度は社員一人ひとりの成長を会社がサポートする制度ですが、部下の成長の道筋を作るのは上司であることが多いと考えています。日々の作業に対するアドバイスに加えて、課員の状況を正確に把握し各自の成長に向けて必要なことを伝えて頂くようお願いしたいと思います。

時には、言いづらいこともあると思いますが、部下のことを思うならば正直に教えてあげることが大切なのだと思います。専門家のサポートを受けながらコーチング技術なども学んでいる途中だと思えます。この学びを部下に還元してあげることがを期待しています。

部下の皆様への期待

自身の成長をサポートされることに違和感を覚える方もいらっしゃるかもしれませんが、また、面談などが不慣れで思うような意見交換ができない方もいらっしゃるかもしれません。それでもこの成長支援制度を推進している理由として、皆様の成長が会社に大きく貢献するからです。単なる作業上の報告ではなく、1つの相談の機会として面談を有効に活用していただければ幸いです。

当社には若手・中堅・ベテラン・定年後の雇用延長など様々なステップの方が勤務して頂いています。それぞれの立場やスキルをどのように活かして、成長していく

か制度を通して理解していただければと思います。

より良い

成長支援制度にするために

四半期に一度の面談だけが成長支援制度ではありません。日々のOJTにおいて上司と部下の皆様がコミュニケーションを取っているとありますが、その質を高めることが成長支援制度を加速化させます。定期面談の内容を充実させるために、報道相を充実させていって欲しいと思います。

人材成長

強みの強化・弱みの改善

評価

育成面談

目標設定

- 達成度確認
- 進捗（行動）管理

● 課題の明確化



成長の過程を振り返る

APS 菅原さん

2課 吉森さん

生産管理 多鍋さん

本号では、入社6年目の菅原さん、4年目の吉森さん、1年半の多鍋さんにお伺いしました。

入社から 今までを振り返って

(菅原さん) この6年間で機械や工具、加工に関する知識を身に付けることができたと思います。日々、北村リーダーの姿を見て学んでいます。

(吉森さん) 機械を一人で動かせるようになりました。また、加工に関して自分なりの意見を言うようにもなってきました。今は先輩に教える立場にもなったことで成長を感じています。

(多鍋さん) 出荷関連の業務を一人でこなせるようになりました。納期遅延が発生した際の協力工場の担当者との調整も行えるようになりました。

成長のために 取り組みたいこと

(菅原さん) 機械の構造の知識を付け、プログラムの内容から予測できるミスを、未然に防げるようになりたいと思っています。

(吉森さん) これからの設備を担当するかによっても変わりますが、自信を持って自分の考えや意見を先輩方と話せるようになりたいです。プログラミングを学ぶことで、より深く理解ができるようになると考えています。

(多鍋さん) 協力工場とのやり取りを一人でできるようになりたいと思っています。やり取りの中で、知らないことや把握していないことが出てくる場合があります。協力工場や材料メーカーの担当の方に教えてもらいながら知識を付けていきたいと思っています。

これからの目標

(菅原さん) 機械3台持ちが目標です。分からないことは教えてもらいながら、今と同じく自分のペースで成長していきたいと思っています。

(吉森さん) より理解を深めるために、プログラミングを学んでいきたいと思っています。

(多鍋さん) 業務の幅が広がり、メッキ処理や熱処理の協力工場の担当の方とのやり取りを担当することが増えてきました。分からないことを一つひとつ減らし、担当者として恥ずかしくないような知識を身に付けたいと思っています。



技術をつなぐ 人をつなぐ 未来へつなぐ

機械要素技術展出展報告

6月19日から21日に開催された第36回ものづくりワールド・機械要素技術展の出展報告を小林Bリーダーにお伺いしました。

出展内容

毎年恒例になってきました機械要素技術展ですが、今年で6回目の出展となります。昨年同様富山県ブースの一角として出展させていただきました。

今年は昨年度よりも来場者数が増えたこと、人通りが多く声掛けがしやすい、とても良い位置だったこともあり、一出展者としてはもちろん、富山県ブースのコンシェルジュとしての立場としても今後の取引の進展につなげることができそうであると感じています。

商談を通して感じたこと

今年度は全体での来場者数が3日間間で合計6万9717人(19日1万9143人、20日2万3498人、21日2万7076人)となりました。昨年度から約3000人増となり、会場も賑やかでした。

当社の商談内容としては、航空機事業の引き合いや鋳物加工の需要が印象的な3日間でした。航空機部品に関しては、原材料の高騰に対して価格改定が追いつかず、価格競争に対応できる業者がいなくなってきたことや職人の高齢化による廃業等によって難加工に対応できるだけの技術力を保有する会社が減少していることが背景にあるのではないかと推察しています。

鋳物加工に関しても同様の背景があり、多数の製造事業者が集まるこの場で新たな事業者を探していたのではないかと思われます。

その他には、中国などアジアの業者が昨年より大分増えたと感じました。

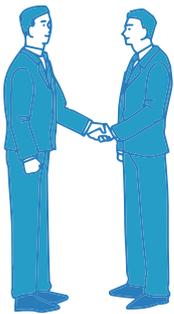
出展の成果

現時点で、引き合いが増えていることを感じています。

そう感じる要因には、メールやオンラインでのフォローアップではなく、対面でのやり取りができた、宮城県での商談会で件のあります。商談会ではありがたいことに当社が最も多くの面談をさせていただきました。そこでは機械要素技術展で名刺交換をさせていただいた方とも商談をすることができましたし、具体的な案件も数多く、非常に手ごたえを感じています。

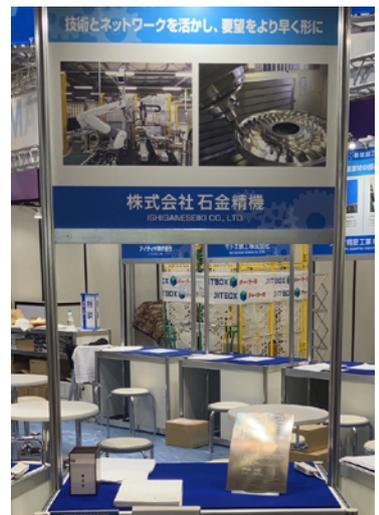
この様に展示会や商談会での対面による効果はとて大きく、足を運んだだけの成果が得られたと実感しています。今後は更に詳細をつめていくことで、受注という成果へつなげていきたいと考えています。

次年度は幕張メッセでの開催が予定されています。航空・宇宙機器関連の製品が機械要素技術展で出展できるので、当社の航空機事業のPRにプラスとなりそうな内容です。また来年度も出展を希望しています。



右写真:当社ブース
シンプルに技術力を伝える展示内容にしました。展示品を見て、感心する方もいっしょり、好評だったと感じています。

左写真:富山県ブース
人通りの多い通路に面しており足を止める人も多く、とても良い位置でした。





ベトナムブロック
トゥエンさん

仕事をする上で大切にしていること

仕事では丁寧に作業することを一番大事にしています。どれだけ早く終わらせても不良品を出してしまうと、時間も材料もムダになってしまいます。また、自分だけでなく他のメンバーの負担にもなってしまふので、一つひとつの作業を慎重にするように心がけています。

今よりも成長するために

今よりもスキルを磨きたいと思っています。特にプログラミングの勉強をした
いと考えています。プログラミングを学ぶことで、ただの作業ではなく、なぜこう
なったのかという点までしっかりと理解できるように、あらゆる仕事に良い
効果が現れると考えています。そして、今よりも早く正確な加工が出来るよう
になりたいです。

日本に来てから、6年半ほどになりました。冬の雪には苦労していますが、日本
での生活にも慣れ、家族との生活も安定しています。これからも石金精機の一員
として仕事に励みたいと思っています。



仕事に励む
トゥエンさん

今回のバトン
次回は製造3課 高森さんにお
伺いしたいと思います。色々な
ことを教えてくれた優しい先
輩です。

石金ニュース!

ボルダリング

今号では、製造3課 石橋さんに「ボルダリング」のテーマでお話
をお伺いしました。

【ボルダリングにはまったきっかけ】

娘にボルダリングをしてみたいと言われ、ジムに行ってみて登っ
てみたのが始まりです。娘はクライミング遊具で遊んだことで本格
的なボルダリングはどのようなものか興味を持ったようです。

【ボルダリングの魅力とは】

老若男女、力が弱い人や運動が苦手な人でも、誰にもできるスポ
ーツという点です。また、登るためにはどう身体を動かせば良いか
考えなければならず、身体以上に頭を使います。どちらの足を使う
か、膝を中に入れるか外に出すか等、ほんの少しの違いで大きく変
わり、奥が深いスポーツです。

最初は娘に付き合っただけでジムに行っていました。今は娘も少し飽き
てしまったようで、自分一人で行く日もあります。自分のペースで
成長できるということも長く続けられている理由の一つだと思います。

【ボルダリングにまつわる最近の出来事】

娘と通っているジムで、高校時代の友人と再会しました。卒業し
て以来でとても驚きました。お互いに子ども連れで来ていて、子
ども同士もすぐに打ち解けて、一緒に登ったり遊んだりしています。



親子でハマる!
ボルダリング